

算数オンライン塾 12月5日の問題 —場合の数の問題—

1から10までの番号がついている箱があります。この10個の箱の中に、区別のつかない10個の玉を全部入れていきます。ただし、玉が入っていない箱があってもよいものとし、また、1つの箱に入れることのできる玉の個数は、1個か2個であるものとします。このとき、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 玉が入っていない箱が1番の箱だけであるような玉の入れ方は何通りありますか。

(2) 玉が入っていない箱が1番と2番の2つだけであるような玉の入れ方は何通りありますか。

(3) 玉が入っていない箱がちょうど2つの箱だけであるような玉の入れ方は何通りありますか。

(式と考え方)

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--